

愛媛県の森林・林業の振興に向けた取組について

農林水産部森林局林業政策課
// 森林整備課
// 全国植樹祭推進課



1 はじめに

愛媛県の森林面積は、県土の71%にあたる約401千haで、国有林を除く民有林面積は360千haと9割を占めており、そのうち、スギ・ヒノキを中心とする人工林が221千haとなっています。

人工林の約79%が50年生を超え、木材として本格的な利用期を迎えている中、搬出間伐主体による素材生産が行われている状況です。（図1）

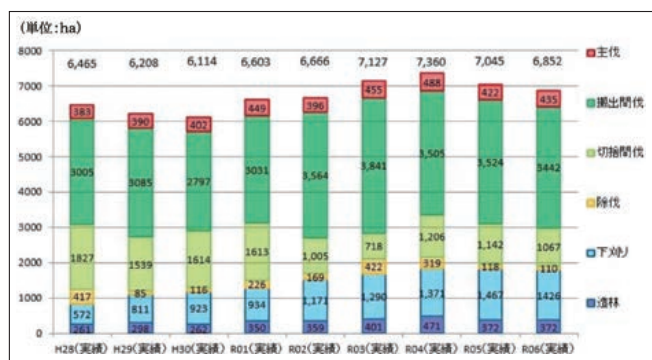


図1：H28～R6年度の森林整備面積の推移

愛媛県では、令和3年3月に策定した「えひめ農林水産業振興プラン2021」において、森林資源の循環利用を進め、林業の成長産業化を図ることにより、山村地域の活性化に結びつけるとともに、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるための森林整備を推進することとしています。

具体的には傾斜が緩やかで林道からの距離が近い条件の良い森林（経営林）と道から遠い奥地など林業経営には適さない条件の悪い森林とに区分し、各立地条件に応じた森づくりを指向することとし、特に経営林では森林経営計画に基づく森林整備や路網整備を推進するとともに、施業の集約化や低コスト化など収益向上に向けた持続可能な林業経営を普及させることとしています。

そのため、更なる主伐・再生林の拡大に向けて施業の省力化・低コスト化が期待できる手法を積極的に実践し、未来につなげる森づくりを加速させていきたいと考えています。

2 CLT 普及に向けた取組

CLTとは、Cross Laminated Timberの略でひき板（ラミナ）の繊維方向が直交するように積層接着した木質パネルで、施工が容易である上、コンクリートと比較して軽量で環境に優しいといった特徴を持つ構造材です。

既に、欧米を中心にマンションや商業施設などでは、中大規模建築物の構造材や壁、床として普及しています。我が国においても脱炭素社会の実現を目標に中大規模建築物の木造化を進めており、CLTはこの木造化を可能とする木質材料として、大きく注目されています。

平成26年、愛媛県では全国に先駆け、県内の林業・木材・建設業関係者で「愛媛県CLT普及協議会」を設立し、CLTの製造施設整備や利用促進に関する国への要望などを実施してきました。

また、平成30年には、県内に原木からCLTを一貫して製造可能な全国初の大型工場（西

条市：㈱サイプレス・スナダヤ）が稼働したことを受け、愛媛県では民間建築物への設計や建築経費支援、設計技術者向けのセミナーなどCLT普及に向けた支援を進めており、令和6年度末時点で県内に公共・民間建築を併せて54棟のCLT建築物が完成しています。さらに、大阪・関西万博のシンボルである「大屋根リング（床材）」は、県産CLTが4,600m³以上使用されており、国内外の来訪者から県産CLTの高い品質、技術力などについて好評を得ています。

今後も、愛媛県では、国や民間企業と深く連携し、CLTを含めた県産木材の利用拡大を積極的に進めていくことで林業の活性化を目指します。



大屋根リング

第76回全国植樹祭えひめ 2026 の開催について

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民的理解を深めるために開催される、国土緑化運動の中心的行事です。式典では、天皇皇后両陛下の御臨席を賜るとともに、県内外から多くの参加者を迎え、記念植樹などが行われています。

昭和25(1950)年に「第1回植樹行事並びに国土緑化大会」(第21回大会からは「全国植樹祭」が正式名称)として山梨県甲府市で開催されて以来、各都道府県において毎年春に開催されています。

愛媛県では、昭和41(1966)年に温泉郡久谷村(現松山市久谷町)にて第17回大会を開催しており、令和8(2026)年5月17日(日)には、60年ぶり2回目となる第76回大会を愛媛県総合運動公園(松山市)で開催します。

今回の大会は、「育てるけん 伊予の国から 緑の宝」を大会テーマとして、県内外の招待者や出演者、スタッフ等を含め、約5,000人の規模で開催することとしており、これまで、両陛下が着座される「お野立所」のデザイン選定や植樹会場の整備に着手するとともに、式典演出や植樹行事、おもてなし内容等について検討を進めています。

また、広く県民等への開催機運を醸成するため、次のとおり広報活動を展開しています。



前回大会での
天皇陛下お手植えの様子



CLTを主要部材とし、石鎚山を
モチーフにした「お野立所」

1 苗木のスクールの様子

県内の小中高生等が、大会の植樹行事等で使用する苗木を育成することにより、森林の整備や森林資源の循環利用への意識向上を図っています。



児童たちの水やり

2 明日の森林へ贈る愛レタープロジェクト

「愛のくに」であり「言葉の文化」が豊富な愛媛県ならではの取組として、広く県民か



森などへのメッセージをツリーオブジェに貼り付け



ら、森林への思いなどを綴ったメッセージ(愛レター)を募り、それを大会テーマソングや式典演出等に活用する県民参加型プロジェクトです。

3 おうちde植樹祭えひめ(全国植樹祭PRブース)

県内のイベントにブースを出展し、「明日の森林へ贈る愛レタープロジェクト」によるメッセージの募集や、苗木及びノベルティの配布を行っています。

4 みんなde植樹祭えひめ(第76回全国植樹祭応援事業)

大会の趣旨に賛同して県内で開催される森林、林業、木材及び緑化に関連する事業を、応援事業として募集しています。

5 全国植樹祭だより “みきゃんからの愛レター”(大会広報誌)

大会開催に向けた取組や準備状況のほか、県内の森林・林業に関する情報などを掲載した広報誌をホームページで公開し、県民等に広く周知しています。



6 カウントダウンイベント

令和7年6月22日(日)に、国立大洲青少年交流の家において、1年前記念イベントを開催しました。記念式典では、今年度の開催県である埼玉県から引き継いだ大会シンボル「木製地球儀」を県内20市町で巡回展示する「ぐるっと植樹祭えひめ」の出発式を行ったほか、大会テーマソングの発表などを行いました。

今後、開催200日前、100日前の節目にもカウントダウンイベントを行うこととしています。

本大会の開催を通じて、国民の森林・林業に対する理解を深め、森林の整備や森林資源の循環利用を一層推進していく契機とし、持続可能な社会の実現につなげるとともに、森林が育む愛媛の自然や文化、産業を県内外に発信し、全国の方々との「絆」を深める「愛顔」あふれる大会となるよう準備を進めています。

第76回全国植樹祭PR隊
みきゃん・こみきゃん・ダークみきゃん

